



会員のひろば



短歌

語りたき思ひ涙となりし今
ただ抱き合ひて無言の空港

本田 征子

断捨離の終わらないまま
また一つ増えたバックに後悔はせず

小西 和子

投稿川柳

雪が舞う冷え込む冬の猛吹雪
転んだら得るものなしのそのまんま

おたかちゃん

サナ活で裏金議員ソロソロと
高梨の涙に映る友笑顔

スーさん

投稿五行歌

高齢期
親子より
人に寄り添う
生成AI
依存のリスク

ひろたん

千支鈴売り切れ
期日前投票行列
予測、判断能力乏し過ぎ
残りの人生も
こんなもんか

たろちゃん

日々雑感～甘納豆のお赤飯～

コンビニなどで甘納豆のお赤飯のおにぎりを見かけると、つい買ってしまいます。子どもの頃は甘納豆のお赤飯は私の家のご馳走でした。母は料理の苦手な人で、おいしいと思えるのはカレーライスか豚汁くらいのものでしたが、私たち兄弟の誕生日には鶏モモ肉を焼き、お赤飯を炊いてくれるのが定番で、食紅でピンクに染めた赤飯に甘納豆を混ぜ、ごま塩をかけたお赤飯を楽しみにしていました。

大人になってから知人達とお赤飯の話になった時に、「本当のお赤飯は小豆を煮た汁で作るもので、食紅や甘納豆を使うなどニセモノだ」と言われ、傷ついたことを覚えています。母は岩内町の出身で、その漁師町では甘納豆派？が主流だったのか、単純に母の好みだったのか、今となっては不明です。

家庭ごとに「我が家のお赤飯」があり、その時のお祝い事があったのだとしたら、小豆でも甘納豆でもいいじゃない、と思えるのです。

てっちゃん

